

取組概要

群馬県明和町と同県千代田町は自治体の枠組みを超えて「経済創生連携協定」を結び、企業誘致や民間資金の導入を行い、地域経済の基盤の確保を図っています。

協定における企業活動基盤の整備及び充実として、駅等が機能的になるよう整備し、企業従業員の移住定住を促進しつつ、民間資本の導入を行っていくため、経済団体と町の出資による「まちづくり会社」の設置をし、駅前開発事業(駅東口医療・保健センター複合施設整備、駅西口ホテル・温浴複合商業施設整備等)を行うものです。

取組の効果

収益性を重視した複合的な官民連携事業により、約50億円強の民間資金が調達できたことにより公費負担の大幅な軽減と多様なサービスを提供できる拠点整備が可能となりました。特に駅西口のホテル・温浴複合商業施設については公費の負担がなく、立地企業の企業活動支援、地域住民の余暇の充実、健康増進など、様々な地域へのサービス提供ができる事業となっています。

人口 11,269 人(R2.1.1現在)

担当 企画財政課



企業ニーズ

創意・工夫した点

初期は2つの行政のみですが地域拡大のステップアップが可能な仕組みとしています。

まちづくり会社により民間主導による事業実施の意思決定の迅速化と高い資金流動性から収益を成果をあげられる組織とし持続性を高められます。

収益事業に関しては、定期借地権方式の活用のほか、施設においても付加価値(温泉をつけることで付加価値)を高め、不動産収入を創出しました。

他団体へのアドバイス

自治体の枠にとらわれず、経済連携協定によるまちづくり会社の設立を選択しました。官民連携の在り方は地域により異なると思いますが、今後はさらに行政のプラットフォームビルダーとしての役割を踏まえ、官から民間主導による住民へのサービスの割合を高められるように、地域にあった官民連携体制の構築がこれからの地方における存続できるまちづくりの鍵となるのではないかと考えております。



まちづくり会社のスキーム